特集2

中学校 新版教科書 Q&A

いよいよ使用開始となる新版教科書の特徴と、
授業での活用のしかたについて、Q&A形式でご紹介します。

イラスト 朝野ペコ　撮影 田尾沙織

Q1. 別冊「資料」はどのように活用すればよいですか。

A1. コンパクトに折り畳めるので、制作時に手元に置いて参照できます。充実のQRコンテンツとともにご活用ください。また、中学3年間の資料がまとまっているので、学年が上がってもお使いいただけます。



折り畳んで制作時に参照

別冊「資料」は、中綴(とじ)製本になっているため、折り返しやすいという特徴があります。
コンパクトなサイズになるため、用具や材料を広げた机の上でも、スペースをとらずに手元に置いて、参照することができます。





多彩なQRコンテンツ

技法動画や色の資料など、表現・鑑賞どちらにも役立つ豊富なQRコンテンツがそろっています。

技法動画
「水彩絵の具のいろいろな描き方」

中学校3年間で必要な技法を網羅しています。動画は、字幕表示(※)や再生速度を選ぶことができるので、生徒は自分のペースで活用することができます。

※字幕が設定されている動画のみ



2·3年から光村図書の教科書を使う生徒たちのために

2·3年の巻末に、別冊「資料」の内容をまとめたページを用意しました。QRコードから技法動画などを視聴できます。

2·3年 P.94～95「学習を支える資料一覧」



Q2. 題材の構成はどうなっていますか。

A2. 「表現」と「鑑賞」の相互の関連を意識し、
一体的に学べる構成になっています。
また、生徒の制作の過程を詳しく紹介している「みんなの工夫」も、
授業でご活用ください。

学習指導要領の資質・能力の三つの柱に対応した3観点の目標を示しました。生徒に伝わりやすい簡潔な文章になっています。

目標
- 形や色彩などが見る人に与える効果を理解し、見通しをもって表す。
- 伝えたい内容について考えたことをもとに主題を生み出し、効果的な表現の構想を練る。
- 自分の考えや見方を深めながら、デザインの構想を練ったり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。

鑑賞

題材の初めに、表現につながる鑑賞作品を掲載しました。また、対話が生まれるように鑑賞が深まる問いを示しています。

表現 発想・構想

全ての表現題材に、作品の発想を広げ、構想を練るための具体的な手立てを掲載しました。

鑑賞

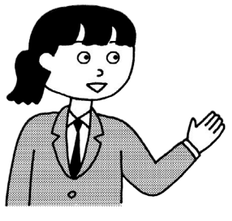
4ページ構成の題材では、最後に鑑賞を位置づけました。表現活動の後に、作品を鑑賞することで、より学びが深まります。



2·3年 P.70〜73「メッセージを伝える」







POINT
炎を上げて落ちるチョウ。作者は、なぜこのような表現をしたのだろう。

〔共通事項〕を意識した問いかけ

生徒が作品を鑑賞するときに、形や色彩、材料などの〔共通事項〕を意識できるよう、問いかけを「POINT」という吹き出しで示しました。

生徒の制作過程が見える「みんなの工夫」

生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む様子を丁寧に紹介。発想段階の思いや考えから始まり、作品を完成させるまでの思考の流れを吹き出しで示しました。アイデアスケッチや制作風景の写真も掲載しているので、生徒の制作の参考として、ご活用ください。

「作者の言葉」を掲載

作家作品、生徒作品ともに「作者の言葉」を掲載しました。作者の作品に込めた思いや工夫点などがよくわかります。

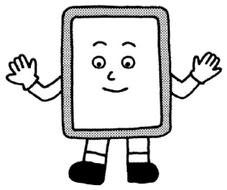
生徒が語る！「作者のインタビュー動画」

「みんなの工夫」のQRコードからは、生徒が自身の作品について語る、インタビュー動画を視聴することができます。授業の中で、ぜひご活用ください。



Q3. 「体感ミュージアム」はどのように活用すればよいですか。

A3. 教科書紙面と、QRコンテンツをあわせて活用することで、鑑賞をより深めることができます。



「最後の晩餐」の場合
（2･3年 P.12〜15）

❶「音声ナビ」を聞く

鑑賞の授業の導入に使える約１分の音声です。先生が音声を流し、クラス全体で教科書紙面を見ながら聞くとよいでしょう。



「音声ナビ」の画面

❷「書き込みツール＆高精細画像」を使う

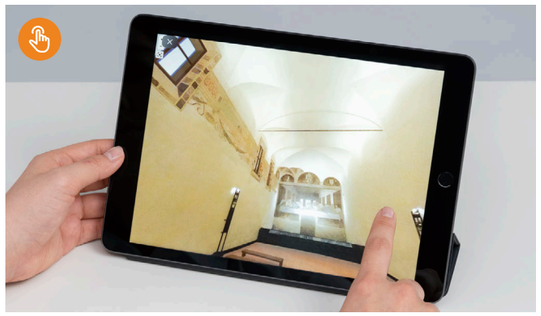
端末に書き込みをしながら、鑑賞を深めるツールです。直線を引いて一点透視図法を確認させたり、描かれている人物のせりふを考えて、吹き出しを書き込ませたり、さまざまな活動ができます。また、書き込んだ画面をキャプチャし、学習支援ツールを使って、クラス全体で共有してもよいでしょう。



「書き込みツール&高精細画像」を操作している様子

❸「360°写真」を見る

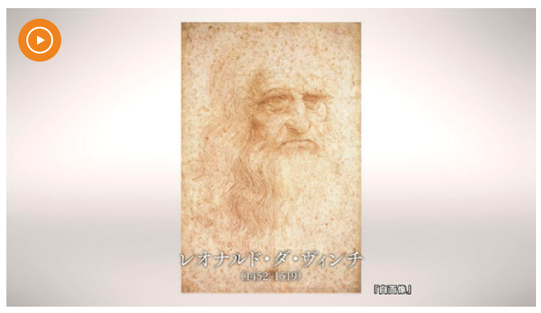
端末の画面をタッチで操作し、さまざまな角度から作品や展示空間を見ることができます。作品の大きさや、壁画が描かれた空間全体を体感できます。



「360°写真」を操作している様子

❹「解説動画」で理解を深める

「レオナルド・ダ・ヴィンチ」「ルネサンス」の解説動画を用意しています。作家の生涯や、作品が描かれた時代背景を知ることで、作品への理解がより深まります。先生がモニターに映して一斉に視聴しても、生徒が自分の端末で視聴しても、学校の実態に応じてお使いください。



解説動画「レオナルド・ダ・ヴィンチ」の画面

Q4. 「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」を授業でどう扱えばよいでしょうか。

A4. 五つのキーワードを手がかりに鑑賞したり、題材と関連づけて指導したりすることができます。

「五つのキーワード」で作品を読み解く

「四季」「動物」「不思議」「余白」「構図」の五つのキーワードを手がかりに、日本の絵画の特徴やよさを考えながら観賞することができます。

和紙のような風合いの用紙！



2･3年 P.34〜35「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード 不思議」

QRコンテンツで理解を深める

紙面のQRコードから、解説動画や作品の高精細画像などを見ることができます。



解説動画
「みかけはこはゐがとんだいい人だ」

題材と関連づける

題材と関連づけて指導できるよう、紙面の右上に関連する題材のページを示しました。例えば、歌川国芳（うたがわくによし）の寄せ絵と、アルチンボルドの作品を比較鑑賞するなどしてもよいでしょう。



2･3年 P.20〜21「あれ?どうなっているの」に掲載されている「夏」（ジュゼッペ・アルチンボルド）